

平成21年実施（飯山市悠久のふるさとづくり支援金事業）

大切な命と健康を地域で守ろう！

～お年寄りの安否確認のための～

「命を守る新聞箱」の設置

北原区は、一人暮らしや高齢者世帯の増加に伴い、日々のその安否確認が十分にできるかが地域の課題となっていました。

そこで、毎朝必ず配達される「新聞」に着目し、外から新聞が見える蓋（ふた）なし新聞箱を全戸の玄関に設置し、朝新聞が残っているようなら一声を掛けて安否確認を行うシステムを構築しました。併せて、もともと集落には同じ苗字が多いなどの理由により、職業や字名や土地の特徴などから各戸には屋号がありましたが、社会・生活環境の変化により若い世代には使用されない傾向となり、このままでは屋号という良き伝統・風習が途絶える危惧があるため、この新聞箱に屋号を表示しました。

これで、一人暮らしのお年寄りも一安心。

～命を守る新聞箱の製作から設置まで～

製作作業の様子



製作作業
（江村文雄さん）



防腐剤塗り作業
（出澤俊明さん）

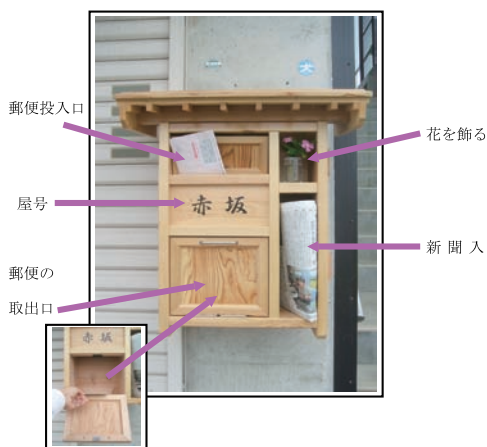


取り付け作業
（江村文雄さん）

新聞箱の前で
渡辺和夫さん
（屋号は中原）



命を守る新聞箱の全体図



○お互いに声をかけ合って、安心・安全な地域をつくりましょう。

本事業は、飯山市悠久のふるさとづくり支援金事業を受けています



屋号を作成



新聞箱の前で
出澤きよえさん
（屋号は赤坂）

